

## 第6学年松組 国語科学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 単元名 表現の工夫を捉えて読み、それをいかして書こう『鳥獣戯画』を読む、「日本文化を発信しよう」

### 2 単元の目標

【知識及び技能】情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。

### 3 子どもと単元

#### 単元について

##### <パンフレット作りにより表現者としての立場を強く実感>

これまで子どもたちは、「笑うから楽しい／時計の時間と心の時間」において、筆者の主張とそれを支える事例を捉えることを学習している。また、「たのしみは」では、伝えたい思いを三十一音という制限の中で効果的に伝えられるように、言葉を選んだり順番や表現の仕方を変えたりする学習に取り組んだ。本単元は、自分の表現に生かすという目的のもと、日本文化の一つである『鳥獣戯画』についての筆者のものの見方や考え、表現の工夫を捉えて読み、それらを活用してパンフレットを書くという2つの領域を一つにまとめた単元である。単に筆者の評価の仕方や伝え方の工夫を捉えるだけでなく、学習したことを生かして子どもたち自身がパンフレットを書くという、表現者としての立場を強く実感することのできる単元であると言える。

##### <論説文のモデルとなる教材>

本教材には、筆者の主張を伝えるために、絵を見る際の着眼点と評価が書かれ、語りかける言葉や体言止めなどの工夫が用いられている。また、絵の部分と全体を示すことで、絵巻物の特徴を効果的に伝えている。さらに、子どもになじみ深い漫画やアニメの祖という絵巻物であることと、日本文化の特色を述べることで説得力のある論の展開となっている。これらのことから、自分の考えを効果的に伝える文章の組み立てを学ぶことに適している教材であると言える。

#### 学びを支えるために

##### <ALTに日本文化を伝えるためのパンフレット作成>

ALTのケイデン先生に日本の伝統文化の魅力を伝えるために、パンフレットを作成するという言語活動を設定する。単元に入る前に、ケイデン先生から出身地であるオーストラリアの伝統文化について紹介してもらうことで自分たちも日本文化を伝えたいという意欲を高める場を設ける。また、単元の導入時に、日本文化についての簡単な紹介文を書き、感想を聞くことにより、更に興味を引いたり、魅力を伝えたりするパンフレットを書きたいという気持ちが高まるようにする。

##### <理由付け、構造化のための思考ツールの活用>

筆者が用いている伝え方の工夫の効果を考える場面では、3種類の思考ツールを活用する。1つ目の「クラゲチャート」は、自分が着目した表現の工夫が用いられている叙述を複数挙げることで効果を実感することができる。2つ目の「キャンディチャート」は、「もし～なら」という仮定から結果を予測することで効果を考えることができる。3つ目の「ピラミッドチャート（下から上）」は、集めた情報を抽象化していくことで効果について考えることができる。自分が選択した思考ツールで整理していく中で、自分の考えが理由付けられたり、構造化できたりするため、伝え方の工夫の効果への理解を深めることができると思われる。

##### ICTの活用<スマイルノートの活用による一人一人の考え方の可視化・共有化>

一人一人の考え方を可視化できるように、スマイルノートを活用する。絵に対する筆者の見方考える場面では、教科書のページをスマイルノートで配付し、絵の部分と叙述を対応させる場を設定する。筆者が着目している絵の部分と叙述を結んだものを比較・検討することで、筆者の見方の特徴に気付くことができるようにする。また、可視化により、友達の考えや取組をいつでも確認でき、自席で友達の考えを参考にしながら自分の考えを深めたり、自分が友達に聞きたいタイミングで話し合ったりすることができる。自信をもって学習に取り組み、個別最適な学びと協働的な学びの往還へとつなげていくことができる。

#### 学ぶ子どもたち

##### <国語科の学習の重要性を感じてはいるが、自信をもって学習を進めることができない子ども>

6月に実施した意識調査では、国語科の学習を「とても大切、大切」、「社会に出た時に役立つ」と答えた子どもがどちらも100%だった。このことから、国語科の学習の重要性を実感していると思われる。一方で、国語科の学習に対しては、全般的に自信をもっている子どもが多いとは言えないという結果だった。しかし、「読むこと」の学習においては、重要な言葉に着目したり、叙述に即して自分の考えをもったりすることはある程度できている。また、毎日の読書の時間に取り組んでいる「私の言葉の宝箱」の活動に意欲的に取り組むことができる。

##### <ICTを活用して実感的に学ぶ子どもたち>

学び合いでは、スマイルノートを用いて自分の考えをまとめ、相互に交流してきた。子どもたちは友達の考えを見て自分の考えの参考にしたり、友達のよさを見付けて全体で共有したりすることを通して、考え方の共有のよさを実感しながら、学びを広げたり深めたりすることが次第にできるようになってきた。

#### 4 指導計画（13時間）

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	①「書くこと」において、筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ②「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ③「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	①文章と図表を結び付けて必要な情報を読み取ったり、構成を工夫して書き表したりすることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもってパンフレットを作ろうとしている。

課題 …課題 課題と対応したまとめ …活動 …思考

時	子どもの思考と活動の流れ	教師の支援と評価（方法）
4型	<p>前回、ケイデン先生にオーストラリアの伝統文化を紹介してもらったから、今度は日本の伝統文化を紹介したいね。</p> <p>日本文化についてのイメージを広げる。</p> <p>伝統芸能 年中行事 和食 文化 花火</p> <p>日本文化についての紹介文を書き、ケイデン先生に読んでもらう。</p> <p>何だか魅力が十分に伝わらなかったみたいだね。</p> <p>外国の人（ケイデン先生）に、日本文化の魅力をもっと伝えるようにするには、どのようにしたらいいのかな。問題発見③</p> <p>自分たちの紹介文に、どのような課題があったのか話し合う。</p> <p>説明が足りなかったのかな。 魅力が十分に伝わらなかったのかな。 文章が読みにくかったのかな。</p> <p>『鳥獣戯画』を読む』に何かヒントがあるかも知れないね。</p> <p>『鳥獣戯画』を読む』を読み、気付いたことや感じたこと、表現の工夫などについて感想をまとめる。</p> <p>いろいろな表現の工夫があったり、話の進め方にも工夫があったりしたね。自分たちも使えると魅力を伝えられそうだね。</p> <p>詳しく読んで、ケイデン先生に魅力が伝わる文章を書きたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動への意欲や読むことへの必要感が高まるように、外国語科の時間にオーストラリアの伝統文化についてケイデン先生に紹介してもらおう場を設ける。また、子どもたちが最初に書いた紹介文を読んでもらい、ケイデン先生が子どもたちに感想を伝える場も設ける。</li> <li>ICTの活用自分たちの書いた紹介文の課題について、一人一人の考え方を捉えることができるように、スマイルノートを活用する。</li> <li>今後の学習につながっていくように、初発の感想をまとめる観点の1つとして「伝え方の工夫」を示す。</li> </ul> <p>[知識・技能] ① (スマイルノート分析、観察)</p>
4型	<p>1枚の絵の説明から始まっていて面白いね。</p> <p>筆者の絵の見方には、どのような特徴があるのかな。問題発見③</p> <p>絵の部分と叙述を対応させる。</p> <p>「耳の先だけ」とか細かい部分に着目しているね。 「もんどりうって」の部分は兎の体全体を見ているね。 「秋草の」から始まる一文は、この絵全体を表現している文章だね。</p> <p>筆者はアップで細かい部分をよく見るだけでなく、ルーズで全体を捉えるという見方をしているんだね。何に着目するか、どの部分を取り上げるかが重要なんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの活用絵の部分と絵を取り上げている叙述の部分の対応を子どもたち相互で確認できるように、スマイルノートを活用する。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現] ③ (スマイルノート分析、観察)</p>

4  
本  
時

<p>4型</p> <p>5</p>	<p>ケイデン先生に「もっとよさを伝えてほしい」って言われたね。</p> <p>筆者は、前半の部分で、どのように絵のよさを伝えているのかな。 <b>問題発見④</b></p> <p>筆者が絵のどこに着目し、どのように表現しているかについて4つの観点で読み取る。</p> <div> <div>絵全体</div> <div>動物の描き方</div> <div>蛙の口の線</div> <div>もんどりうって転がった兔</div> </div> <p>この絵をほめる言葉がたくさん使われているね。</p> <p>漫画やアニメとも比較しているところがいいね。</p> <p>筆者は、絵の特徴をしっかりと捉えて、その素晴らしさが私たちに伝わるように工夫しているんだね。</p> <p>自分たちが紹介したい日本の伝統文化で着目した部分を、どのように評価するかが大切になるんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習でまとめたものを活用し、どこに着目していたか確認する場を設ける。</li> <li>・筆者の見方を実感したり使われている言葉の共通点に気付いたりできるように、子どもの発言を整理していく。</li> <li>・<b>ICTの活用</b>自分の表現に生かすことができるように、気に入った叙述を「私の言葉の宝箱」に残す場を設定する。</li> <li>・今後の学習に生かすことができるように、物事の価値を判断することを「評価」ということを押さえる。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現] ③ (ノート分析、観察)</p>
<p>4型</p> <p>6</p>	<p>後半の2つの段落は絵巻物について書いているね。</p> <p>筆者は、どのように絵巻物のよさを評価しているのかな。 <b>問題発見④</b></p> <p>8・9段落を読み、事実と筆者の絵巻物に対する評価について読み取る。</p> <div> <div>事実① 850年前からの歴史</div> <div>事実② 保存し、伝えてくれた祖先たち</div> </div> <div> <div>日本文化の特色</div> <div>なんとすてきでおどろくべきもの</div> <div>自由闊達</div> </div> <p>筆者の評価が「国宝」から「人類の宝」へと高まっているね。</p> <p>自分たちが選んだ日本の伝統文化をどんな言葉で評価するかしっかり考えないといけないね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ICTの活用</b>8段落には事実が、9段落には筆者の評価が書かれていることを実感的に理解できるように、デジタル教科書の「書き込みシート」を活用する。</li> <li>・絵巻物を通して、筆者が何を評価しているかに気付くことができるように、子どもの発言を整理していく。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現] ③ (デジタル教科書書き込みシート分析、ノート分析、観察)</p>
<p>4型</p> <p>7</p>	<p>ここまで『鳥獣戯画』を読む」を学習してきて、筆者の伝え方にたくさんの工夫があることが分かってきたね。</p> <p>筆者がどんな伝え方の工夫をしていたのかな。 <b>問題発見④</b></p> <p>本文を読み、伝え方の工夫が使われている部分を探す。</p> <div> <div>①絵の示し方 つながっている絵を2つに分ける。</div> <div>②表現の工夫 書き出し。体言止め。短文。問いかけ。</div> <div>③論の進め方 漫画やアニメを例にする。絵の説明から始める。</div> </div> <p>こうやって振り返ってみると、たくさんの伝え方の工夫が使われているんだね。その効果についてもっと考えてみるとケイデン先生に日本文化の魅力がより伝わるパンフレットが書けるようになるかも知れないね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の『鳥獣戯画』に対する評価ではなく、「伝え方の工夫」を探すことを確認する。</li> <li>・<b>ICTの活用</b>次時の活動に生かせるように、自分が注目した叙述や表現の工夫について、デジタル教科書の「マイ黒板」や「書き込みシート」に記入する場を設定する。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現] ③ (デジタル教科書マイ黒板・書き込みシート分析、観察)</p>

4型	<p>筆者の伝え方の工夫がいろいろ見付かったけれど、どうしてそのような工夫を使ったのかな。</p> <p>筆者の伝え方の工夫には、どんな効果があるのかな。 <b>問題発見④</b></p> <p>自分が選択した伝え方の工夫の効果についてまとめる。</p> <div> <div>①絵の示し方 アニメや漫画との共通点を実感できるね。</div> <div>②表現の工夫 文章にリズムがあったり、問いかけられたりすることで読者が引きつけられるね。</div> <div>③論の進め方 説得力をもって自分の考えを伝えることができるね。</div> </div> <p>どの工夫も、私たち小学校6年生が『鳥獣戯画』の素晴らしさを実感することにつながっていたんだね。</p> <p>どのように書いたら、ケイデン先生に日本文化の魅力が伝わるかを考えながら書いていく必要がありそうだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の興味・関心に応じて選択できるように、思考ツールを3種類用意しておく。</li> <li><b>ICTの活用</b> 相互の交流がしやすくなるように、スマイルノートを活用する。</li> <li>共通点や相違点に気付くことができるように、お互いの考えを交流する場を設定する。</li> <li>今後のパンフレット作りにどんな工夫を使ってみたいかについても考えるように助言する。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現] ③ (スマイルノート分析、観察)</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ① (スマイルノート分析、観察)</p>
4型	<p>さあ、ケイデン先生を納得させるパンフレットを作るぞ！</p> <p>どのようにしたら、自分たちが選んだ日本の伝統文化の魅力が伝わるかな。 <b>問題発見③</b></p> <p>教科書p152～157と「調べた情報の使い方」を読み、パンフレット作りのポイントをつかむ。</p> <div> <div>これまで集めてきた情報を整理していく必要があるね。</div> <div>調べた情報をパンフレットに利用する時には、「」を付けたり、出典を示したりして著作権を尊重することが大切なんだね。</div> </div> <p>自分のテーマに沿って、調べる。</p> <p>情報を集めることはできたけれど、どれを使うと、魅力が伝わるかよく考えないといけないね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットの紙面の例と教科書の学習の進め方を参考にしながら話し合いを行い、パンフレットの構成要素をつかんだり、今後の学習への見通しをもったりする場を設定する。</li> <li>教科書p152「調べた情報の使い方」を確認し、調べた情報の適切な使い方や著作権を尊重することの大切さを理解する場を設定する。</li> </ul> <p>[知識・技能] ① (ノート分析、観察)</p>
4型	<p>日本文化の魅力をよりよく伝えるためには、集めた情報の取捨選択が必要だね。</p> <p>よりよいパンフレットにするには、どんな構成にしたらよいか。 <b>問題発見③</b></p> <p>調べた情報を基に構成を話し合い、担当箇所等も決定する。</p> <div> <div>魅力を伝えたいから、理由や事例を挙げて説明した方がいいね。</div> <div>歴史を紹介したいから、出来事を時代順に年表にしたらいいかな。</div> <div>読み手が疑問に思いそうなことを説明したいから、初めに「問い」を書いて説明しようかな。</div> </div> <p>自分の担当するページがいい内容になるように、集めた情報をしっかりと整理していきたいな。</p> <p>集めた情報の優先順位を決めながら、整理していく。</p> <p>ケイデン先生に、日本の伝統文化の魅力を伝えるための構成が決まったぞ！まずは、下書きをがんばっていこう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>ICTの活用</b> どのスペースに、どの材料を配置するかという割り付けのイメージをもてるように、スマイルノートでレイアウト用紙の基本形を示す。</li> <li>目的意識や相手意識をもって材料の取捨選択ができるように、「自分たちが伝えたいことは何か」「ケイデン先生に魅力は伝わるか」という観点を示す。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現] ① (スマイルノート分析、観察)</p>

『鳥獣戯画』を読む」で筆者が使っていた表現の工夫を使って、より魅力が伝わるパンフレットを書いていきたいな。

どんな伝え方の工夫を取り入れながら、下書きを書き進めていったらいいかな。  
**問題発見③**

分担した部分の下書きを進める。

写真と文章を関連させると、より分かりやすくなりそうだね。

問いかけるような言葉を使うと、興味を引くことができるかも知れないね。

どの順番で説明していったら魅力が伝わりやすいかな。

下書きを読み合い、修正点について話し合う。

写真のどの部分に着目しているかがもっと分かるように書いた方がいいかも。

問いかけにプラスして、筆者のように文末表現を言い切ると、より強く伝わりそうだね。

伝統文化の歴史がよく分かる順番になっていて、とてもいいと思うな。

アドバイスを受けて書き直し、パンフレットを完成させる。

自分たちが選んだ日本の文化の魅力が、ケイデン先生に十分伝わるものになったかな。

・ **ICTの活用** 『鳥獣戯画』を読む」の筆者の表現の工夫を意識しながら下書きに取り組めるように、第5時・6時で学習した内容を個人フォルダに保存しておく。また、「私の言葉の宝箱」を参考にするように助言する。

・ 下書きを読み合う際には、良い点や改善点のアドバイスが焦点化するように、「表現の工夫が効果的か」や「自分の考えが伝わりやすくなっているか」という観点を示す。

・ 修正した文章を読み合う際には、前回との違いが明らかになるように、「前回のアドバイスを受けて工夫した点」を伝えることを押さえる。

[思考・判断・表現] ②  
(スマイルノート分析、観察)

[主体的に学習に取り組む態度] ①  
(スマイルノート分析、観察)

他のグループがどんなパンフレットを作ったのか、楽しみだね。

お互いのパンフレットを読み合い、感想を伝え合おう。

パンフレットを読み合い、感想を伝え合う。

細かいところまでよく見て書かれているね。

文末表現が工夫されていて、リズムがとってもいいね。

初めに「なぜ」と思わせてから説明していくところが、引きつけられるね。

単元の学習の振り返りを行う。

筆者のものの見方についてこの後も意識して読んでいきたいな。

筆者の表現の工夫を自分なりに使えたので、これからも使っていきたいな。

絵と文章を効果的に組み合わせると分かりやすくなることを再認識できた。

今回の学習で学んだことは、他の学習で調べたことをまとめる時にも使っていけそうだね。

早くケイデン先生に読んでもらって、感想を聞きたいな。

・ パンフレットを読み合う際には、事前に書き手の思いや工夫が読み手に伝わるように、グループの代表が「自分たちが伝えたかった思い」や「取り入れた表現の工夫」などを伝える場を設定する。

・ 単元の学習を振り返る場面では、これまでの自分の取組を振り返るだけでなく、論説文を書き進める際のポイントを今後の学習へも生かすことができるように、教科書 p157 の「たいせつ」や「いかそう」の内容を押さえる。

・ **ICTの活用** 一人一人の考え方を捉えることができるように、スマイルノートを活用する。

[主体的に学習に取り組む態度] ①  
(スマイルノート分析、シート分析、観察)

## 5 本時の実際（本時 4 / 13） 4型

### （1）ねらい

絵と文章を対応させながら読むことを通して、筆者の絵の見方の特徴を捉えることができる。

### （2）展開

子どもの思考と活動の流れ	教師の支援と評価方法等
<p>「『鳥獣戯画』を読む」は、一枚の絵の説明から始まっているのが特徴の一つだったね。</p> <p>筆者の絵の見方には、どのような特徴があるのかな。<b>問題発見③</b></p> <p>絵の部分と叙述を対応させ、筆者の絵の見方の特徴を考える。</p> <p>「ぼちんと黒い」というのは、兔の耳の先のことかな。</p> <p>「まだら模様があつて～」のところは、形と格好のどっちなんだろう。</p> <p>絵と文章はつながってたけど、見方の特徴が難しいので、友達と相談してみよう。</p> <p>それぞれが見付けた絵の部分と叙述の対応を整理し、筆者の見方の特徴を話し合う。</p> <p>「耳の先だけ」とかとても細かい部分に着目しているね。</p> <p>「もんどりうって」の部分は、兔の体全体を見ているね。</p> <p>「秋草の」から始まる一文は、この絵全体を表現している文章だね。</p> <p>アップとルーズ、どちらの見方もしてことで、よさや魅力を読み手に伝えることができるんだね。</p> <p>どこに目を付けるかによって、よさや魅力の伝わり方が変わりそうだね。</p> <p>どんなところにどのように着目するかというのは、パンフレットに生かせそうだね。</p> <p>筆者はアップで細かい部分をよく見ているだけでなく、ルーズで全体を捉えるという見方をしているんだね。何に着目するか、どの部分を取り上げるかが重要なんだ。</p> <p>学習の振り返りを行う。</p> <p>細かい部分までしっかりと見ることの大切さを実感することができた。</p> <p>細かく見るだけでなく、想像力を働かせていくことがとても重要だと感じた。</p> <p>アップやルーズという見方を自分が伝統文化を紹介するときに使っていきたいな。</p> <p>次からは、もっとこの文章のよさや表現の工夫を見付けていきたいな。</p>	<p>教師の支援と評価方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習とのつながりを意識したり、本時の学習の方向性を確認したりする場を設定する。</li> <li>・<b>ICTの活用</b>絵と文章のつながりの試行錯誤が容易にできたり、子ども相互の交流がしやすくなったりするように、教科書のページを添付したスマイルノートを配付する。</li> <li>・絵の部分と叙述をなかなか対応させることができない子どもに対しては、まずは「色」や「形」について考えてみたり、友達の取組を参考にしたりするように助言する。</li> <li>・<b>ICTの活用</b>全体での学び合いの場面では、それぞれの取組を視覚的に捉えることができるように、電子黒板に映し出す。</li> <li>・筆者の絵の見方の特徴を焦点化することができるように、発言を整理していく。</li> <li>・<b>ICTの活用</b>アップやルーズという筆者の絵の見方を実感できるように、筆者の叙述に即して、自分の手で画像にフォーカスする場を設定する。</li> </ul> <p>〔思考・判断・表現〕③ スマイルノート分析・観察 「『鳥獣戯画』を読む」における筆者の絵の見方の特徴について、自分なりに捉えているかの確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ICTの活用</b>自分の学習への取組を価値付けることができるように、観点を示す。また、お互いの振り返りを共有し、新たな視点を得たり、考えを深めたりすることができるように、スマイルノートを活用する。</li> </ul>